



買い物客へ啓発グッズを配布するミスのお二人

1 10の日

1月10日の「110番の日」、ウイングプラザパティで、正しい110番通報についての啓発のための蟹江警察署主催の広報イベントが行われました。

イベントには、ミス弥富金魚・ミス弥富が一日警察官となって登場し、参加者らと一緒に、正しい110番のかけ方についてのクイズや、模擬通報を体験しました。

その後、ミスのお二人は、買い物客へ啓発グッズを配布しました。

金魚の初市

1月16日、東海観賞魚卸売市場(平島町)で弥富金魚の初市が行われました。

「かんこ」と呼ばれる木枠に入ったランチュウやリュウキンなど約30万尾が、地方や関東、関西から集まった卸業者の威勢の良い掛け声で次々と競り落とされました。

この日の最高値は更紗和金で、18,000円もの値がつけました。



熱気と活気にあふれる競り場



サンタさんとふれあって喜ぶ子どもたち

クリスマス会!

12月21日、市内各保育所にてクリスマス会が行われました。桜保育所では、みんなで歌っているとかすかに聞こえてくる鈴の音と一緒にやってきたサンタさんに子どもたちは歓声をあげました。サンタさんからプレゼントをもらい、一緒に記念撮影をして、とても喜んでいました。

また、その後サンタさんに「誰と住んでいるの?」などの質問がありました。最後に、子どもたちからは、お礼に歌をプレゼントし、楽しいクリスマス会になりました。



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



▲ぶんちゃんおみくじ (歴史民俗資料館)

金魚のイルミネーション

12月21日、近鉄弥富駅南口で、「やとみ金魚イルミネーション点灯式」が行われました。

これは、市広報大使やとみまはちさんが代表を務める「やとみスイートハートプロジェクト」の活動の一環で、弥富北中学校、弥生小学校、白鳥小学校、愛知黎明高校の生徒たちと力を合わせて手作りのペットボトルイルミネーションが制作されました。生徒たちは、ペットボトルに弥富への将来の希望を書いたメッセージを記入しており、その一つ一つが金魚の鱗の部分になっていました。

点灯式にはプロジェクトのメンバーや協力した生徒らや関係者が参加し、イルミネーションが点灯されると、歓声が上がり、巨大な金魚と共に写真を撮る人たちであふれていました。



ライトアップされた金魚のイルミネーション

消防団年末夜警

12月28日と29日の2日間、午後9時から午前0時まで弥富市消防団年末夜警が実施されました。

この活動は、各分団車庫などに年末夜警詰所を設営し、各分団員で管轄地域のパトロールを行うもので、火災が発生しやすい気候を迎えるにあたり、防火意識の高揚を図り、火災を未然に防止することを目的として行われました。十四山支所に集まった多くの消防団員が市民の生命、財産を守るために市内のパトロールに向かいました。



整列する消防団員

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

明治の東海道(その6)

広報1月号でご紹介した「孝女そよ宅址」の碑から少し東に進み、右に分かれるせまい路地を入ります。しばらくすると、「烏の池」とよばれる池が見えてきます。

「烏の池」は、高潮などで堤防が切れた後にできる「滞」とよばれる池のひとつです。「神戸家文書」に、宝暦7(1757)年にこの場所に滞ができたという記録があります。名前の由来は池の形が鵜に見えるからとも、鵜がたくさん飛来するからとも言われています。

昔は旧十四山村の各地に滞がありましたが、現在ではほとんどが埋め立てられ、今に残る滞は「烏の池」のみとなっています。

「烏の池」が埋め立てられなかった理由として、この池に住むという竜神「八大竜王」の伝説が伝わっています。「烏の池」を埋め立てようとした関係者の夢に竜が出たことなどから、埋め立てが中止されたといわれています。

明治の東海道は、「烏の池」からさらに東に続きます。



▲烏の池

広報やとみでは市民の皆さんが撮影したお写真を募集しています! 詳しくは、市ホームページ「投稿こんな〇〇あったがね～」をご覧ください。

